

会 議 録

1 会議名

平成29年度第1回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成28年度地域活動支援事業の完了について（公開）

(2) 平成29年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成29年5月29日（月）午後6時26分から午後9時50分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：山口典夫（会長）、竹内浩行（副会長）、保坂裕子（副会長）、池内幸雄、伊藤善一、尾崎祐三、加藤与三郎、佐藤 功、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、榎島係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・12名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

【山口会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：山田委員、横尾委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【山口会長】

質疑を求めるがなし。

—次第3報告（1）平成28年度地域活動支援事業の完了について—

【山口会長】

次第3報告（1）「平成28年度地域活動支援事業の完了について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1により説明。

【山口会長】

説明について質疑を求めるがなし。

—次第4議題（1）平成29年度地域活動支援事業について—

【山口会長】

次第4議題（1）「平成29年度地域活動支援事業について」に入る。

今年度の提案事業全てについて、提案者の事業説明と質疑応答のあと審査、採点をし、事業の採択、補助金額等の決定を行う。

正副会長は審査、採点に加わるため、事務局に会の進行を求めることを諮り、委員全員の上承を得る。

【佐藤センター長】

- ・ 提案…12件補助希望額計446万9千円、予算配分額比43万1千円分少ない
- ・ 1事業につき、事業説明5分以内、質疑応答5分以内、基本審査1分以内、優先採択審査と共通審査（採点）2分以内

今の説明について質疑を求めるがなし。

審査、採点を始める。

整理No.1「今池町内安全対策事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求めるがなし。

- ・質疑応答を終了

— 提案者退席 —

- ・基本審査を委員に依頼

— 基本審査票 記入・回収・集計 —

- ・基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

- ・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.1 「今池町内安全対策事業」の採点を終了。

次に、整理No.2 「小学生通学路の安全整備事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求めるがなし。

- ・質疑応答を終了

— 提案者退席 —

- ・基本審査を委員に依頼

— 基本審査票 記入・回収・集計 —

- ・基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

- ・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.2 「小学生通学路の安全整備事業」の採点を終了。

次に、整理No.3 「天野原新田町内会安全・安心対策事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【尾崎委員】

防災訓練は1年に1回とのことだが、今回購入する発電機は、1年に1回の点検では

いざという場合に操作できないのではないかと。少なくともひと月に1回程度はエンジンをかけた方がいいのではないかと。

防災訓練のときに、ガソリンの携行缶の中身はどうするのか。

炊き出しの際は、お米などは自主的に用意するのか。

【提案者】

ガソリンについては、携行缶自体、長く保存しておくのも問題があると思うので、参考にする。

月1回くらいはエンジンをかけてメンテナンスしたい。参考にする。

【尾崎委員】

「さんごう防災DAY」事業と重複するものはあるのか。

【提案者】

あまり考えていない。あくまでも町内としての自主防災組織の活動である。

【池内委員】

資機材をしまっておく場所はどこか。

【提案者】

町内会館前のプレハブを考えている。

【池内委員】

災害が起こったときに、その建物は大丈夫か。

【提案者】

高齢者を主体とした一時的な避難場所である。損傷が激しい場合は、学校へ移動する。

【池内委員】

訓練のための資機材だと理解すればよいか。

【提案者】

非常時のための訓練である。

【池内委員】

非常時に潰れたら役に立たない。

【提案者】

震度4程度の状況で、ある程度町内会館でも対応できる場合は、こちらを優先したい。

【佐藤センター長】

他に質疑を求めるがなし。

・質疑応答を終了

— 提案者退席 —

- ・基本審査を委員に依頼

— 基本審査票 記入・回収・集計 —

- ・基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告
- ・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.3「天野原新田町内会安全・安心対策事業」の採点を終了。

次に、整理No.4「三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業」について、提案者に説明を
求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【池内委員】

昨年と違うところはどこか。

【提案者】

バスの運行時間を変えている。

内容は皆さんから満足いただいているため、回を重ねるごとに内容が固まり、極端に
変わった内容はない。スケジュールを工夫しているのと、ミニライブでは西松野木のダ
ンスで活躍されている女性に出演交渉をしている。そういった内容が今までと違う部分
である。

【池内委員】

去年の決算が633,395円だが、今回82万円くらいに増えているのはなぜか。

【提案者】

音響機材等が入ったことが増えた要因である。今までは小学校の体育館の外に設置さ
れている外部のスピーカーを利用させていただいており、ステージイベントのミニライ
ブに関しては、出演いただく方が自前で機材を持ち込んでいた。だが、それだと会場全
体に音が届かないという参加者からの声があったため、きちんとした音響設備を整える。

【横尾委員】

カラオケは、機械を買うのか。

【提案者】

買うのではなく、借りる。

【竹内副会長】

屋台村では、有料で飲食等を提供されていると思うが、仕入れとの関係で収支は合っているのか。

【提案者】

基本的に収支はとんとん。地域イベントであり営利目的ではないため、最低限赤字が出ない程度の内容にしている。また、子ども会の皆さんからも関わっていただくため、子ども会からも若干の費用が出ており、それで補てんしている。

【尾崎委員】

屋台村の食品衛生の許可はどうされているか。

【提案者】

今までは特に問題がなかった。保険等には加入している。

【尾崎委員】

確認していただいた方がよい。最近保健所自体が非常に厳しくなっている。

【二野委員】

保健所へ確認したところ、ある地域に限るなど小規模であれば届出は要らないと。小学校である場合はかなり広範囲に渡るため、保健所の届出が必要になると思う。

【佐藤センター長】

・ 質疑応答を終了

— 提案者退席 —

・ 基本審査を委員に依頼

— 基本審査票 記入・回収・集計 —

・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

・ 優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.4 「三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業」の採点を終了。

次に、整理No.5 「三郷地区大運動会事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【池内委員】

昨年の決算が42万円だったが、今年はなぜ半分なのか。

【提案者】

借りるものが大幅に減った。

また、今までは体育振興会から12万円程の支出をしていたが、今年から15万円程に増額したためである。

【竹内副会長】

グラウンドロープ等の装備は、学校側で用意することはなかったか。

【提案者】

一度張ればずっと使えるので運動会だけのものではないが、こちらとしてもグラウンドを使わせてもらうことから、グラウンド整備に不具合があるならと予算に入れた。

【佐藤センター長】

他に質疑を求めるがなし。

・質疑応答を終了

— 提案者退席 —

・基本審査を委員に依頼

— 基本審査票 記入・回収・集計 —

・基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.5「三郷地区大運動会事業」の採点を終了。

次に、整理No.6「いきいき健康ウォーク事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者1】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂副会長】

昨年度の体育振興会の会計で16万4千円残っている。各戸から1千円ずつ集めているいろいろな事業をしていることに感謝する。ただ16万円も余っている中で、地域活動支援事業の方にこれだけ要求することについて、説明していただけないか。

【提案者2】

昨年、収入が当初の予算より増えたため、今までより高額の繰り越しが計上された。

皆様からいただいた貴重なお金なので有効活用するため、今回補助希望額どおりとならなかった場合や補助対象外の経費に、繰越金を充てたい。また、今後周年事業等も予定されており、皆様からいただいたお金を単年度で使い切るわけにもいかないの、理解を。

【池内委員】

通算で何回くらい実施されているのか。

【提案者1】

昨年で5回。

【池内委員】

では今回6回目か。

場所を探すのも大変だと思うが、町内全体をウォーキングするという案は出ないのか。そうすると、子どもだけではなく高齢者も参加しやすいのではないか。

【保坂副会長】

20年前はしていた。

【山口会長】

次回検討されるのもいいのでは。

【尾崎委員】

目的に世代間交流とあるが、過去、年代別でどのくらいの参加があったか。

【提案者2】

参加者はだいたい決まってきた。一番多いのが60代。あとはお子さんと一緒に保護者の方が参加される。全体の2～3割程度が地域の皆さんである。世代間交流とは何かと言われると難しいが、一緒に歩きながら話をしたり、途中で昼食を一緒にとったり記念撮影をしたり、というように交流を育んでいただくことが世代間交流だと理解している。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑応答を終了
 - 提案者退席 —
- ・ 基本審査を委員に依頼
 - 基本審査票 記入・回収・集計 —
- ・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.6「いきいき健康ウォーク事業」の採点を終了。

次に、整理No.7「ウィンターフェスティバル事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂副会長】

城西中学校区の各区にもPRチラシを配っているということだが、どれくらいの方が来られるか。

【提案者】

残念ながらごく少数である。

【保坂副会長】

友だちと一緒にというような。

【提案者】

そのとおり。中学生が友だちを連れてくるくらいのもので、大勢ではない。

【保坂副会長】

こういうことを三郷でしているというPRにもなるので、いろいろな人を通して拡大されたらよいと思う。

【竹内副会長】

ウィンターフェスティバル事業に限らず、自主財源が端数分しか計上されていないが、定着した事業に対して、体育振興会として予算取りはされているのか。

【提案者】

している。地域活動支援事業は飲食に関わる部分は提案できないので、体育振興会の事業費の方で計上している。今回も4万円ほど予定している。

【尾崎委員】

ウィンターフェスティバルに対して、飲食で4万円を体育振興会で予算付けをしているのか。

【提案者】

そのとおり。

【尾崎委員】

飲食の中身を教えてほしい。

【提案者】

餅つき用のもち米や、雑煮の材料費が中心になる。

【二野委員】

2、3年後を見据えた場合、なかなか周知されないことと、集客が少ないことで、今後も実施していく意味があるのか。先行きの見通しはいかがか。

【提案者】

冬の事業であるため、地域の一般の方から参加してもらうのがなかなか難しい。回覧等で案内するが、「自分に関係ない」となり、なかなか真意が伝わらない。

【二野委員】

冬場に皆さんで集まり体を動かすのが目的だろうが、各町内会の子ども会等でスキーに行ったりしているところもある。そういったところも踏まえて、どうなのかということもあると思う。

【提案者】

参考にさせていただく。

【横尾委員】

これも飲食がからむため、保健所等の関係は問題ないか。管理者が責任を問われる時代なので、慎重にしていきたい。

【提案者】

承知した。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑応答を終了
 - 提案者退席 —
- ・ 基本審査を委員に依頼
 - 基本審査票 記入・回収・集計 —
- ・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告
- ・ 優先採択審査、共通審査を委員に依頼
 - 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.7「ウィンターフェスティバル事業」の採点を終了。

次に、整理No.8「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」について、提案者に説明を

求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【二野委員】

本長者原の水田レーダー探査とあるが、どのくらいの深さまで探査できるのか。

【提案者】

分からない。そんなに深くはないと思う。

【二野委員】

例えば1 mまで測れるなど、いろいろあると思う。

【提案者】

そこは聞いていない。

土地改良事業が動いており、表土はだいぶ削ってある。以前発見されたものも地上に出ていたため、あまり地下深くには潜っていないと想定している。

【二野委員】

13,700円で2回。ずいぶん安い、なぜか。

【提案者】

先生方の研究にもなるため、ここまで来る日当分だけ。

【伊藤委員】

目的に、「三郷地区の歴史を後世子どもたちに伝える」とあるが、特に小学校の子どもたちに何かを伝える計画はあるか。

【提案者】

3年生から歴史の勉強をする。「地域のお宝」に選出され、この間も私のところに小学生が数人来て、「見つかりましたか、見つかりませんか」、「こういう地名があるのですが、どういう意味ですか」と。かなり興味を持って、歴史に対する考えが深まっていることは事実である。

文化祭には、私どもの活動を掲示させていただいている。

先生の話では、小学生もかなり地域の歴史に関心を持っており、学校の裏が昔は全部沼地だったことや、そこからいかだの下につるされた9尺四方の礎石が引き上げられたという話もわかってきたようだ。非常に興味を持ってきていることは事実である。

【伊藤委員】

なるべく子どもたちに伝えてもらいたい。

【提案者】

分かった。

【池内委員】

この会としては、ここがそうだという場所の確定をしているのか。

【提案者】

明治6年か7年に礎石の出た場所が残っている。田んぼになっているが。

【池内委員】

図面はあると思うが、写真で上から撮って「ここだ」という確定はできているのか。

【提案者】

昭和20年にGHQが撮影したモノクロ写真を立体鏡で見る勉強会を、提案書に含めた。上から見ただけではなかなか分からないが、田んぼの真ん中に畑が点々とあり、そういうところは田んぼにできない事情があったと解釈すると、その辺に建物があったとか、何かが残っているという感じだった。

【池内委員】

会としては、このあたりが有力地だという結論は出ているのか。

【提案者】

池内委員の考えと一致するかは分からないが、結論は出ている。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑応答を終了
 - 提案者退席 —
- ・ 基本審査を委員に依頼
 - 基本審査票 記入・回収・集計 —
- ・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告
- ・ 優先採択審査、共通審査を委員に依頼
 - 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.8「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」の採点を終了。

次に、整理No.9「さんごう防災DAY事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【池内委員】

昨年も熊本等で災害が起きている。実際に災害が起きたときにボランティアになる人たちができるような訓練をすることはできないのか。

【提案者】

垣根を下げることをしていけば。

【池内委員】

若い人たちが支援を行うようなシステムを、さんごう防災DAY事業でやられたらいいのではないか。

【提案者】

まず、こういうことに参加してみることで、知るきっかけを作る。

【池内委員】

昨年もこれを行ったので、だいたい分かってきたと思う。

【提案者】

そんなことはないと思う。

【池内委員】

その中からボランティアを育てられないのか。

【提案者】

だんだんと関心を、例えばニュース一本見るにつけても、去年は起震車で震度7の体験を行ったが、それを体感することでニュースの感じ方が変わってくるし、自分はそのときにどんな役割をしようか、と考えると思う。

【山口会長】

是非次年度も継続して欲しい。1回で終わるのではなく継続することで、ボランティアなど個々に自覚が芽生えてくると思うので、幼少期から、また関心がない人たちを意識づけることが大事だと思う。

【横尾委員】

参加者はどんな方で、年齢は。

【提案者】

子どもたちと保護者、あとは関心のある地域の方々である。たくさん参加していただきたいので、自分の知り合いからどんどん声を掛けていくと、必然的に子育て世代が多

くなる。関心のある方は、そもそもどういったことをしているのだろうということで、見に来てくださる。

【尾崎委員】

チラシ600枚とあるが、町内会を通じて全戸配布を考えているのか。

【提案者】

そのとおり。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑応答を終了
 - 提案者退席 —
 - ・ 基本審査を委員に依頼
 - 基本審査票 記入・回収・集計 —
 - ・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告
 - ・ 優先採択審査、共通審査を委員に依頼
 - 採点シート 記入・回収・集計 —
- 整理No.9「さんごう防災DAY事業」の採点を終了。

次に、整理No.10「さんごう夏っ子クラブ事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【横尾委員】

送迎バス代1万円とあるが、こんなに安く送迎してくれるのか。

【提案者】

バスはバス会社ではなく、南葉高原キャンプ場がバスを出してくださるので1万円である。

【横尾委員】

1万円ならとても安い。

【提案者】

バス会社だと相当かかる。最初はそうしたが、キャンプ場の方で出してくれるということで、昨年も1万円バスを出してもらった。

【池内委員】

毎年やらなくてはならないほど効果がないということか。

【提案者】

どういう意味か。

【池内委員】

調理体験など、毎年これをしないとなかなか子どもたちはしないということか。

【提案者】

そういうことではない。

【池内委員】

楽しみのためにするということか。

【提案者】

そのとおり。目的に書いたとおり、いろいろな体験活動を通じて学校ではなかなか体験できないことをする。学校では皆で同じことをするのが基本だが、自分で考えて好きなことをする。友だちとも一緒に活動できる。そういうことを目指している。

【池内委員】

どれくらいの効果が上がったか。

【提案者】

それは地域の皆さんが子どもを見ていただければいいのではないかと思う。私から「こういう効果があった。」ということとは言えない。

【池内委員】

では効果はないのだろうか。

【保坂副会長】

私の孫もお世話になっている。毎年活動をするにしても、集まってくる子どもが違えばいろいろなことが起きるし、それにどう対応するかで子どもたちが学ぶものもある。違う学年のいろいろな子どもが集まり、学校では体験できないことがこの場で体験できる。また、トラブルがあったときのフォローも保護者へ全て連絡が来ているので、私はとてもありがたい活動だと思っている。

こういう活動がどんどん広がっていくと、いろいろな場でいろいろな子育てをしてもらえて、地域で子どもを育てるという活動がどんどん広がっていくと感じている。

【山口会長】

賛否両論あると思うが、こういう事業は市でも非常に注目している。地域活動フォーラムに、以前提案者から発表してもらった。他の区でもいろいろとしているのだが、三

郷区においても必要なことだと思う。

児童クラブが各小学校区にあると思うが、三郷小学校区の中にもあるか。

【提案者】

ある。

【山口会長】

それは夏休み期間中ではなくて通年か。

【提案者】

通年である。夏休みは一日通しである。児童クラブに行っている子も希望があれば、私たちが児童クラブに迎えに行き、午前中一緒に活動をしてお昼に送り届ける。希望すればこちらに参加してもらうことは、市と協議済である。保護者の方もそれで納得していただいている。

【尾崎委員】

スペシャル企画で参加者負担というのは考えられないか。子どもたちだけの回はよいが、保護者も参加するときは。

【提案者】

考えていないので、こういう計画を立てた。

【尾崎委員】

考える余地はないか。

【提案者】

余地がないということではない。

【横尾委員】

最近、学校行事で登山をしないという話を聞いた。今の子どもは危険に対する対応能力が劣っていて、崖から落ちたりすると学校に責任が行く。提案者も、子どもを連れていて非常に責任を感じておられる面もあると思う。小学生が参加する場合、何年生以下は保護者同伴など、制限はされているか。

【提案者】

キャンプは基本的に保護者同伴である。南葉山の登山道にはそんなに崖はない。もちろん下見にも行くが、ものすごい危機意識を持ちながら山に行くわけではない。本当は南葉山では面白くないのだが、山登りをふだん経験しない家庭だと連れて行ってもらえない子どももいると思うため、「こういう機会に山登りに行きましょう」と、一緒に行ってもらって保護者の方に働きかける。

山に行かなくてもよい。行かない人は留守番係で、キャンプ場でお昼ごはんを作ってもらおうと思っている。山登りから帰ってきたら、作ってもらったお昼ごはんを食べて帰ってくるという計画を考えている。

【横尾委員】

今はあてにならない保護者が非常に多いので、十分に注意していただきたい。

【提案者】

自分の子どもは自分で守ってもらう。

【横尾委員】

親は自分の子どもの不注意を棚に上げて、監督者の責任に転換するケースが非常に多いので、十分注意された方がいい。

【提案者】

夏っ子クラブでは、普段の活動では保護者は来ていないが、基本的に保護者の責任。私たちが見ているが、子どもが勝手なことをしてケガをしないように、保護者がきちんと子どもに注意しておいてほしいと言っている。言うだけしかできないが。

【二野委員】

テントは6張と決まっているのか。参加人数はもう決めてあるのか。

【提案者】

それは見込みである。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑応答を終了
 - 提案者退席 —
 - ・ 基本審査を委員に依頼
 - 基本審査票 記入・回収・集計 —
 - ・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告
 - ・ 優先採択審査、共通審査を委員に依頼
 - 採点シート 記入・回収・集計 —
- 整理No.10「さんごう夏っ子クラブ事業」の採点を終了。

次に、整理No.11「さんごう仲間づくり事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【保坂副会長】

薬の話をしてくれるのは薬剤師か。

【提案者】

そのとおり。

【保坂副会長】

謝礼はいらないのか。

【提案者】

いらないと聞いている。薬剤師会が企画し募集するチラシを見て申し込んだら、謝礼はいらないということだった。

【尾崎委員】

広報のために年に2回新聞を発行するということだが、新聞作成で4千円しかみていない。それで足りるのか。

【提案者】

コピー代だけである。

【池内委員】

自己負担をという話が昨年も出たと思うが、自己負担額が昨年の半分になっているのはなぜか。

【提案者】

今回は自己負担をしてもらう内容のものが少ない。料理教室は材料費がかかるので1人200円の参加費とした。

【池内委員】

今回は、参加費は料理教室だけということか。

【提案者】

そのとおり。

【佐藤センター長】

- ・ 質疑応答を終了
 - 提案者退席 —
- ・ 基本審査を委員に依頼
 - 基本審査票 記入・回収・集計 —
- ・ 基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

- ・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.1 1 「さんごう仲間づくり事業」の採点を終了。

次に、整理No.1 2 「三郷小学校課外活動支援事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

事業概要に基づき説明。

【佐藤センター長】

提案者の説明について質疑を求めるがなし。

- ・質疑応答を終了

— 提案者退席 —

- ・基本審査を委員に依頼

— 基本審査票 記入・回収・集計 —

- ・基本審査の結果、適合すると判断した委員が過半数であることを報告

- ・優先採択審査、共通審査を委員に依頼

— 採点シート 記入・回収・集計 —

整理No.1 2 「三郷小学校課外活動支援事業」の採点を終了。

— 5分休憩 —

【佐藤センター長】

審査採点結果を説明。

- ・基本審査で「適合しない」が過半数となった事業なし
- ・優先採択審査で「該当しない」が過半数となった事業なし
- ・共通審査の委員採点で得点が多い順に順位づけ（満点300点）

1位 整理No.2 小学生通学路の安全整備事業 268点

2位 整理No.5 三郷地区大運動会事業 261点

3位 整理No.9 さんごう防災DAY事業 246点

4位 整理No.8 三郷地区の歴史・史跡を研究する事業 245点

5位 整理No.4 三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業 243点

6位 整理No.1 今池町内安全対策事業 236点

7位 整理No.1 2 三郷小学校課外活動支援事業 231点

8位 整理No.3 天野原新田町内会安全・安心対策事業 227点

9位 整理No.10 さんごう夏っ子クラブ事業 211点

10位 整理No.11 さんごう仲間づくり事業 206点

11位 整理No.6 いきいき健康ウォーク事業 201点

12位 整理No.7 ウィンターフェスティバル事業 200点

審査採点結果に基づき、山口会長に採択審査の進行を求める。

【山口会長】

採択事業と補助金額を決める。

基本審査に適合しない事業なし、優先採択審査に該当しない事業なし。このことから、全ての事業を採択することを諮り、委員全員の了承を得る。

補助希望額のうち減額すべきものについて意見を求めるがなし。

全ての事業を補助希望額どおり補助することを諮り、委員全員の了承を得る。

提案者への附帯意見を求める。

【二野委員】

ENJOY35の事業の中で、スペシャル企画として南葉山での一泊のキャンプと登山がある。

以前、三郷地区の子ども会で国立妙高自然の家に行った経験があるが、相当念入りにしないと危険がある。バスで送り迎えをしていたが、それだけではただ遊んでくるという感覚が強かったので、高田駅に集合し各駅停車の電車で関山まで行き、そこから歩いた。子どもたちは非常に喜んでいて、事前会議の際に保護者たちから「子どもが危ない」、「自分たちが荷物を背負って行くのがつらい」という感じが非常に強かったため、関山神社から荷物だけ車で運ぶという条件付きで行った経緯がある。事前調査も行った。

何人になるかまだ分からないため、テントも6張しか用意されていない。

こういった企画もよいが、何か事故があった場合を考えて、念入りに準備しないと。

オリエンテーリングも含まれるが、このような事業は子ども会でできないか。関山駅から現地まで歩く事業を、健康ウォーキング事業と兼ねてできないか。

【山口会長】

その附帯意見は全事業に対してか、あるいはさんごう夏っ子クラブ事業に安全に配慮するよという意見としてか。

【二野委員】

当然、これは採択されているので。

【山口会長】

今は附帯意見の審議である。

今、二野委員が言われているのは、事業をまとめてできないかということか。

【二野委員】

それもひとつである。

【山口会長】

それは、違った形で提案者とお話されるのもひとつの方法だと思う。

今は採択した事業について、附帯意見をどうするかと。さんごう夏っ子クラブ事業に、安全面を配慮して事業を行うように、という意見を付けるなら、それでよいと思う。

センター長、それでよいか。

【佐藤センター長】

そのとおり。

【山口会長】

全体でまとめてというのは、町内会長連絡協議会等で。

【二野委員】

先ほど、時間があまりなかった。

【山口会長】

言っていることは分かる。

【池内委員】

二野委員が言われているのは、重複するものが何件かあるので、調整できないかという意味もあると思う。

【二野委員】

それもひとつある。

【山口会長】

提案事業に対しての審査・採択をしている。採択は終わり、決定した。

【池内委員】

事業は各団体がばらばらに申請してくるため、同じようなものが出てきてしまう。

【山口会長】

提案事業に対して、皆さんが先ほど意見を言ったりしている。ただ、Aの事業とBの事業を一緒にできないかというのは、一旦提案を下げて話をしなくてはいけない。それは来年の問題である。

【二野委員】

おっしゃるとおり、これはもう採択された。ただ、本当にこの額で足りるのか。

【山口会長】

そういうことも含めて、疑問があるなら、事業を実施している団体の皆さんと個々に話をしてもよいと思う。それは平成30年度に。

【二野委員】

それは地域協議会としてはしないのか。

【山口会長】

そこまで突っ込んでいいかどうか。

【池内委員】

各団体が別々に申請してしまうので、どうしても同じようなものが。

【二野委員】

それはそれでいい。来年に向けて二つを一つにできないか。

【山口会長】

まちづくり振興会の設置の検討をしている。振興会ができると、今言われた調整ができると思う。それも振興会の設立の目的のひとつだと思う。

地域協議会は事業に対しての審査・採択を行い、事業の趣旨に適合するかを議論するし、プレゼンをするかどうかも地域協議会で決めている。2つの事業を1つにするよう地域協議会で誘導することがいいのか。それは委員個々の問題ではないか。

【横尾委員】

それはできないだろう。

【山口会長】

地域協議会としては、その事業に対して審査・採択をするわけだから、疑問である。

【横尾委員】

それをしてしまうと、5人以上で組織して、提案した意味がなくなってしまう。それぞれ特徴がある。

【山口会長】

ある区では、提案した団体に委員がいる場合、審査に加わっていない。三郷区は12名の委員しかいないので、仮に10人の委員が提案された場合、2人で審査するのは不可能である。そういうシステムだと理解してほしい。

附帯意見はどうするか。「安全面を配慮する」を付けるか。

【二野委員】

何人参加するか確定していないわけである。

【山口会長】

これから募集するだろう。

【二野委員】

あまりにも暫定的。全ての保護者が同伴すれば相当な人数になる。

【山口会長】

さんごう夏っ子クラブ事業のスペシャル企画について、「安全面に注意して事業を実施するように」という附帯意見をつけることを諮り、委員全員の了承を得る。

他に附帯意見をつける事業はあるか、意見を求める。

【池内委員】

食品を取り扱う事業について、附帯意見を付けた方がいいのではないか。

【山口会長】

三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業、それとウィンターフェスティバル事業。

【榎島係長】

食品販売経費は補助対象としていないため、附帯意見としては適当ではないと考える。

【山口会長】

安全面についての附帯意見はどうか。

【榎島係長】

キャンプや登山にかかる経費は補助対象で、その経費が提案されているため適切と考える。

【山口会長】

安全面についての配慮を附帯意見とするのは、いきいき健康ウォーク事業もそうか。

【竹内副会長】

傷害保険をかけている事業は、全て付けてはどうか。

【山口会長】

とりあえずさんごう夏っ子クラブ事業だけでよいと思う。

【竹内副会長】

運動会は終わってしまっている。

【山口会長】

附帯意見はさんごう夏っ子クラブ事業にだけ付けることを諮り、委員全員の了承を得

る。

43万1千円の予算残額の取扱いについて諮る。

追加募集の有無について、意見を求める。

私としては、これだけの予算が余っているのに住民の皆さんの課題の解決や活性化になぜ使わないのか、という意見が住民からあった場合、説明に苦慮しないためにも追加募集をした方がよいと思う。ただ、時期的なことやらなくてもよい、という意見があることも確かである。

【二野委員】

私どものグリーンライン事業は、西松野木から下四ッ屋につながる部分を今回は含めなかったが、2次募集で認めていただけるものか。

【山口会長】

それは提案者としての意見。今は委員として、頭を切り替えて。

【二野委員】

追加募集してほしい。

【山口会長】

それは委員としてか。

【二野委員】

はい。

【山口会長】

追加募集を行うことに賛成の委員の挙手を求め、全員の賛成により追加募集を行うことに決する。

追加募集の日程案等について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・ 募集要項は当初の内容と同じ
- ・ 6月15日号の三郷区地域協議会だよりで周知
- ・ 募集期間 6月26日（月）～7月7日（金）
- ・ 審査、採択 7月下旬～8月上旬

【山口会長】

事務局の提案どおりとすることを諮り、委員全員の上承を得る。

追加募集について、他に意見を求めるがなし。

—次第5 事務連絡—

【山口会長】

事務局に事務連絡を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程 第2回地域協議会 6月27日（火）

開催時刻について、今後は午後6時30分から開催とすることを諮りしたい。

【山口会長】

開催時刻を事務局提案のとおり今後は18時30分とすることに賛成の委員の挙手を求め、全員賛成により事務局提案のとおりとすることに決する。

【佐藤センター長】

- ・6月27日（火）は午後6時30分から三郷地区公民館集会室で開催
- ・地域活動支援事業は採択結果を受け、速やかに補助金交付決定を行う
- ・追加募集については、先ほどのとおり
- ・三郷区地域協議会だよりを6月15日に発行予定
- ・配布資料

市長とのキャッチボールトークの案内

まちづくり市民大学の案内

頸北斎場のあり方に関する意見書（吉川区）写し

頸北斎場の存在意義に関する意見書（柿崎区）写し

主要事業・プロジェクトの概要

【山口会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。